

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金												令和08年01月26日
計画の名称	油津地区（第4期） 都市再生整備計画事業（ウォーカブル推進事業）											
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	日南市											
計画の目標	大目標：歴史・文化資源の利活用により魅力ある観光地を形成し、新たな人の流れを取り込むことで、交流人口や関係人口の増加を目指す。 目標1：地域資源の魅力を磨き、エリアの価値を向上させる 目標2：まちなかの回遊性向上 目標3：官民一体となった賑わいの創出											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,545	A	1,545	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5		R10末
1	地域資源を活用した観光地の評価（満足・やや満足）を19.5%から40%へ増加			
	地域資源を活用した観光地の形成の評価	20%	%	40%
2	計画区域内である堀川運河周辺の一日の通行量を705名から1,000名へ増加			
	計画区域（滞在快適性等向上区域）内での歩行者数	705人/8時間	人/8時間	1000人/8時間
3	市民主体のイベントへの参加者数 1,050人から2,000人へ増加			
	官民一体となったまちづくりへの参画の評価	1050人	人	2000人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	日南市	直接	日南市	－	－	油津地区（第4期）都市 再生整備計画事業（ウォ ーカブル推進）	高質空間整備事業（290㎡） 等	日南市	■	■	■	■	■	1,545		－	
												小計						1,545		
												合計						1,545		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	51	259			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	51	259			
前年度からの繰越額 (d)	0	44			
支払済額 (e)	7	61			
翌年度繰越額 (f)	44	242			
うち未契約繰越額(g)	0	12			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	3.96			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 油津地区（第4期） 都市再生整備計画事業（ウォークアブル推進事業）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]